

2025 年度 県社協とのやりとりメモ

3 月 5 日(県社協 河野さん、清川さん)

JC にもとめること

- ・災害発生時、災害ボランティアセンターの運営も人手不足になりがちなため、積極的にボランティアや災害ボランティアセンターの運営の手伝いをしてもらいたい。
- ・県社協から JC に対して何人ボランティアを集めてほしいとは言いづらいため、JC 主体でボランティアにきてもらいたい。
- ・多くの支援物資を社協で用意することはできない。
- ・2025 年の防災国体は新潟で開催されるためご協力いただきたい。
- ・県社協が共催している防災に関する研修会への参加。
- ・土木や建築などの専門技術は県社協では手が出せないためご協力いただきたい。
- ・雪害については県社協が動けることはほとんどない。日常的に除雪の要請をする程度しか行っていない。
- ・にいがた防災バンクという仕組みは情報を確実に届けられると感じる。

にいがた防災バンクを JC 以外に広げるにあたっての課題

- ・災害支援という大きな枠組みでは情報統制が取れなくなると予想する。物資、ボランティア、専門技術などのテーマごとに人材を集められれば運営しやすいのではないか。
- ・少しづつ規模を拡大していくとその都度課題を解決していく必要があると感じる。